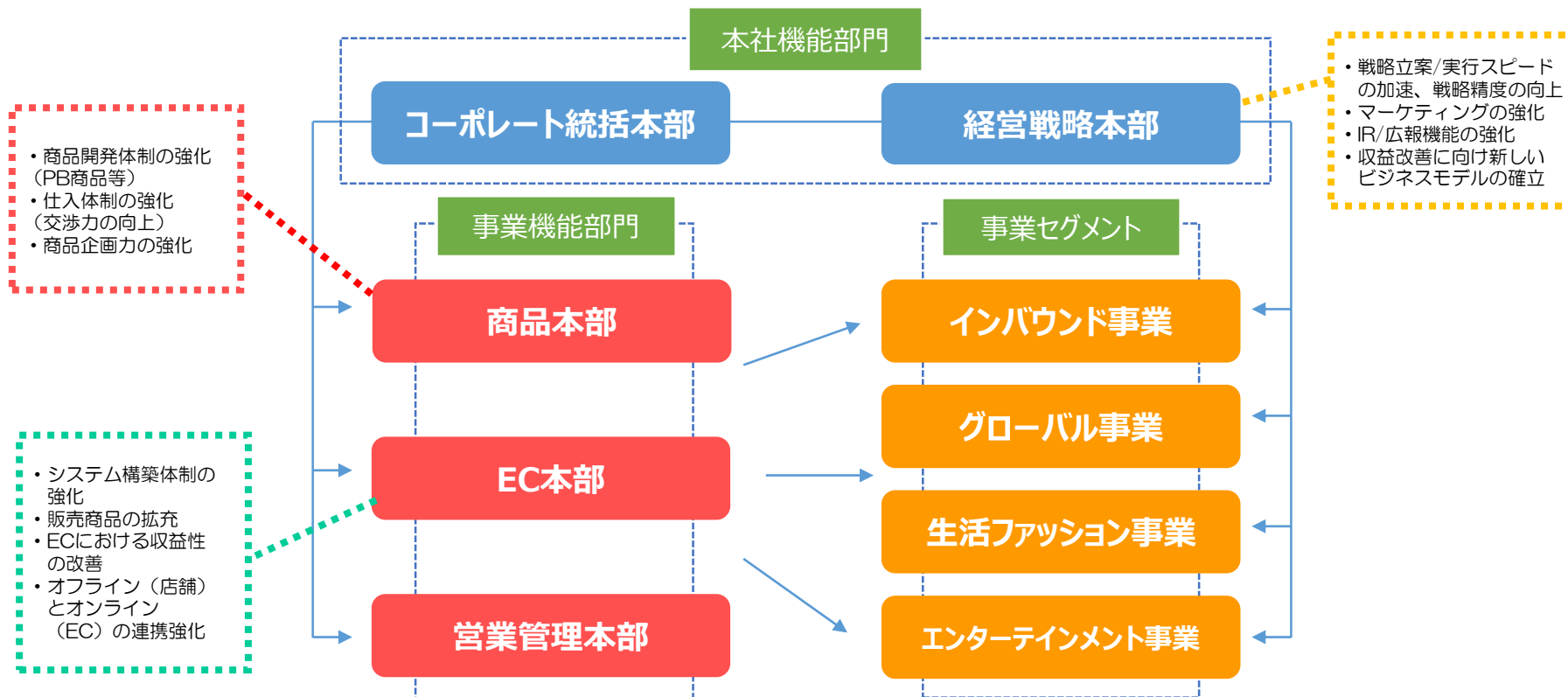


2020年7月14日 (東証2:8202)

全社トピックス

新しいビジネスモデル・働き方に沿った新組織体制が7月1日付でスタート

ラオックスグループでは、組織の効率化とグループシナジーの最大化、経営のスピードアップを実現すべく、ラオックス株式会社とシャディ株式会社を中心に各社で持っていた機能を統合しました。管理部門の統合し、新たに経営戦略本部、商品本部、EC事業本部をラオックス内で立ち上げるとともに、グループ横断的に重点プロジェクトを推進する営業管理本部を設置しました。現在のコロナ禍の中、グループ一体でリレーションを強化し、収益基盤の早急な改善および事業の立て直しに取り組んでまいります。



2020年7月14日 (東証2:8202)

インバウンド事業

2Qハイライト

2020年12月期第2四半期は、新型コロナウイルスによって主要顧客である訪日外国人が大幅に減少するなど集客に影響が及んだほか、4月16日に全国に発令された緊急事態宣言を受けて、全店舗の一時休業を実施しました。この状況の中、店舗においては、マスクや消毒液、体温計など新型コロナウイルスに関連したヘルスケア用品のほか、食品やゲームなど楽しみ需要に関連した商品の販売を行いました。また、インバウンド事業の新たなビジネスモデルとして、昨年末から準備を進めてきたLaox道頓堀店をグランドオープンしました。

6月18日、「Laox道頓堀店」がグランドオープン

Laox道頓堀店は、昨年10月に立ち上げた商品戦略本部と連携し、これまでの訪日外国人向けの商品構成から大きく変更した新業態店舗です。国籍を問わずお客様に楽しんでいただける店舗を目指し、「日本のいいもの」「アジアのいいもの」「世界のいいもの」を集めました。

1Fの「Laox Food Market」は、食をテーマに売り場を展開しており、人気のスイーツ、地域の名産品、ラオックス本気の日本酒酒店「JA NO ME」をお楽しみいただけるほか、中国で大人気のティーブランド「奈雪の茶」の日本1号店を誘致しました。2Fは韓国コスメ等の美容関連商品、3Fは旬なコンテンツをお楽しみいただけるイベントスペース、韓国雑貨等を展開しています。新型コロナウイルスの影響を受けましたが、オープン当日は多くのメディアの注目を集め、好調なスタートを切りました。今後はラオックスの将来を担う新業態店舗として他店舗の運営にも活かしてまいります。



Laox Food Market専用のロゴマークとショッピングバッグができました

グリーンを基調にボタニカルな雰囲気仕上げられた店舗内装に合わせ、既存のロゴカラーやショッピングバッグを一新し、落ち着いたデザインを採用しました。



2020年7月14日 (東証2:8202)

グローバル事業

2Qハイライト

2020年12月期第2四半期は、引き続き新型コロナウイルスの影響を受けましたが、マスクや消毒液などのヘルスケア用品が堅調に推移しました。また、新たにベビー用品の供給も開始したほか、既存取引先であった理美容家電メーカーとの取引拡大や、6月には中国のグローバルEC(越境EC)における大型セールイベント「618」の開催などによって、厳しいコロナ禍においても前年同期を上回る実績を確保しました。

「618」とは

「618」とは、2010年に中国の大手ECサイトがスタートした大型セールです。2013年からは、当社が出店するT-mallも開催するようになり、近年では各EC事業者が一斉に独自開催する大規模商戦となりました。現在は、2009年に大手ECサイトアリババが11月11日(独身の日)に合わせて開始したイベント「ダブルイレブン」と並ぶセールイベントの一つとなっています。「618」はトレンドの移り変わりによって、注力するポイントが変化する点が特徴です。近年は、中国国内のEC事業の発展により、物流インフラの整備が進んだことを受けて、これまでECを利用できなかった農村部や地方都市のユーザーを獲得すべく、顧客の取り込みや各ブランドの浸透を推進しています。

上海Laoxが華東カルフルと業務提携

6月16日、上海Laox(樂弘益(上海)企業管理有限公司)と華東カルフル(上海聯家超市有限公司)は、業務提携に関する基本合意書を提携し、同日、華東カルフルが運営する大型スーパーマーケット「カルフル古北店」に出店しました。

4月に業務提携を行った日本アクセス社の協力のもと、日本のお菓子や日本酒、ウイスキーなどを取り揃えました。今後は、2020年3月に取得した日本酒輸出販売免許の運用による輸出拡大も併せ、中国向けにオンライン・オフラインで「日本のいいもの」をお届けしてまいります。

華東カルフル(上海聯家超市有限公司)とは

華東カルフルは、中国カルフルの子会社として中国の華東エリアにおける事業運営を行っています。中国カルフルは、1995年にフランス流通大手カルフルの中国法人として設立され、2019年9月に蘇寧易購の傘下となりました。中国初の欧米型ハイパーマーケット業態を展開しており、スーパーは1,000平米超の広い売場面積を誇るほか、食品から日用品まで取り扱っています。中国国内22省51都市に209店の大型総合スーパーマーケットと24店のコンビニエンスストア、大型倉庫・配送センターを有しており、蘇寧易購の小売事業の1つとなっています。



2020年7月14日 (東証2:8202)

生活ファッション事業

Shaddy 2Qハイライト

2020年12月期第2四半期は、よりお客様のニーズに沿ったご提案ができるよう、商品本部の再構築を実施し、スイーツをはじめとする商品の強化および充実化を図りました。加えて法人取引の拡大にも注力し、収益基盤の強化も行っていました。店頭では新型コロナウイルスに関連して需要の高まったマスクや消毒液などのヘルスケア用品や、冷凍食品の取り扱いを開始し、ECでは商品数を従来比で約3倍増やすなど、より幅広いご提案が可能になりました。

5月の母の日向けギフトでは、定番の花束や鉢植えに加えて、シャディの強みであるオリジナル商品や、人気商品をアソート化したギフト、母の日限定のコスメ・雑貨等をご用意し、売上高は前年比210%と大幅に伸長しました。

今後は、7月1日付でスタートしましたラオックスとシャディの機能統合による新体制のもと、グループシナジーを活かして更なる事業基盤の強化を実施し、ラオックスグループの基幹事業の一つとして、より幅広い顧客層や事業領域に対応してまいります。

ギフト支援プロジェクト#いま贈ろう



The poster features the Shaddy.jp logo at the top right with the tagline '笑顔つながるギフトはシャディ'. The main text reads 'ギフト支援プロジェクト #いま贈ろう' and '総額1000万円分のエールを支援します'. The background shows two hands holding a red heart.

新型コロナウイルスの感染拡大によって、大切な人、お世話になっている人など、会いたい人に会えないといった状況が続いています。創業から90年以上、ギフトを取り扱ってきたシャディとして、この状況だからこそ、ギフトを贈ることで感謝の気持ちやエールを送りたい方々を応援するために全21種類、総額1,000万円分のギフトをご用意しました。

現在、第2弾の応募がスタートしています。ギフトを贈りたい相手を選び、贈りたい相手への想いや贈りたい理由を記入するだけでエントリーが可能です。当選された方には、シャディからおすすめのギフトをお贈りします。応募締め切りは7月20日となります。締め切りまで残りわずかとなりますが、「#いま贈ろう」に是非ご応募ください。

特設サイトURL：<https://shaddy.jp/imaokuro/>
募集締切 7月20日(月)※商品発送は8月初旬

2020年7月14日 (東証2:8202)

エンターテインメント事業

ラオックスSCD (株) 店舗営業を再開

全国における緊急事態宣言の解除を受けて、一時休業していた店舗が営業を再開しました。



- 千葉ポートスクエア ポートタウン
5月28日～ カフェ「MINATO CAFÉ」
6月26日～ バイキングレストラン「THE NEW YORK BAYSIDE KITCHEN」



- リバーウォーク北九州
6月20日～ リバチカこども王国「ジャイアントスタジアム」

外出自粛期間中におけるエンターテインメント事業の取り組みについて

新型コロナウイルスの感染拡大によって、ラオックスSCDおよび加古川ヤマトヤシキが運営する施設は、一部を除き一時休業を行ってまいりました。

加古川ヤマトヤシキでは、5月16日に兵庫県の休業要請の一部解除を受けて全館で営業を再開しました。当日は再開をお待ちいただいていた沢山の地元のお客様にご来店いただき、地元で愛される百貨店としての存在価値を再認識するきっかけとなりました。

千葉ポートスクエア ポートタウンのバイキングレストラン「THE NEW YORK BAYSIDE KITCHEN」では、オフィス棟や近隣住民の皆様のニーズにお応えして、お弁当「NY弁当」のテイクアウトを実施しました。上記のとおり6月26日から通常営業を行っており、ご好評いただいている「NY弁当」のテイクアウトも継続して販売しています。

中国・上海で営業する高級日本料理店「くろぎ上海」は、中国における感染収束を受けて営業を再開しており、予約数、売上ともに過去最高を記録するなど好調に推移しています。

エンターテインメント事業では皆様に愛される施設を目指し、引き続きお客様と従業員の安全・安心の確保を最優先に営業をしてまいります。

